## ● ハレの日の食器 ●

ハレとは、お正月・ひなまつりといった年中行事、七五三・冠婚葬祭といった人生儀礼などおめでたい行事のことであり、ケとは、普段の仕事や生活のことである。食事に使用する食器の上でも、二つの違いがはっきりとしている。

**■漆器（写真左：ハレの日、写真右：ケの日）**

正式な食事において、日本料理はすべて並べておいてから食するスタイルである。料理が冷めない工夫として木製漆塗りがされ、蓋付きが適している。中世には食器の中心的素材は木であったが、現代では家庭で使用される食器は汁椀、茶托、盆の少数を除いてほとんどが陶磁器で占められている。

**■重箱 ↑**

ハレの日の料理を入れる箱である。今日では、主に正月のおせち料理の容器として使われる。

**■盃（磁器）**

磁器製猪口は宴会などに用いられるようになる。

**■酒瓶（徳利）→**

首が細くなった酒を入れるための容器。